

令和7年11月19日

## 令和7年度 第2回 大阪市立遠里小野小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立遠里小野小学校  
校園長名 林 真美子

日 時	11月19日 (水) 18:00~19:00	
場 所	校長室	
出席者	<p>委員など 藤本優生（会長）山本博久（委員）新見龍平（委員）高橋秀次（委員） 吉本恵美（委員 大和川中学校校長）</p>	
校園	林真美子（校長）佐藤亮（教頭）	
区役所	森亜紀（係長）	
議題	<p>○令和7年度「運営に関する計画」中間評価について ○令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果と分析について ○意見交換</p>	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	① 令和7年度の「運営に関する計画」の年度目標の達成に向けた取り組み内容の進捗状況について協議し、達成状況の評価の妥当性について理解が図れた。	<p>○【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】【学びを支える教育環境の充実】の取り組み内容・進捗状況について確認を行った。</p> <p>○【安全・安心な教育の推進】の取り組みの指標としている『心の天気』の活用について『心の天気』の活用は朝の時間よりも帰りの時間に行うべきではないか。子どもたちがもやもやした気持ちや嫌な気持ちを抱えるのは朝よりも帰りではないか。』と貴重な意見をいただいた。</p> <p>○【未来を切り拓く学力・体力の向上】において、地域連携の取り組みにおける学校側の課題について共有し、お願いを行った。課題とは「2年生で行っている町探検で訪れるお店が見つからない。」ことである。解決策として町会議等でチラシを配布し、呼びかける形をとることとなった。</p>
	② 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の本校の結果の概要について協議し、学習の定着状況や課題、また児童質問紙からうかがえる児童の実態や生活習慣上の問題等について共通理解することができた。	○遠里小野小学校の児童の学力の向上に向けて、国語科中心に研究をすすめていることの報告を行った。
	③ 区役所より、学校配置の適正化の取り組みについて説明があった。	○遠里小野小学校の今後の児童数・学級数の動向は現在と変わらない状況が続くと予想されている。遠里小野小学校は「小規模校」に位

		<p>置づけられている。パンフレットに記載されている『小規模校』の課題は本当に課題なのか。』『適正規模校（12～24学級の小学校）になる基準は人数だけなのか。』『小規模校と適正規模校ともにメリットとデメリットがあり、適正規模校が必ずしもいいわけではない。』等、様々な意見や質問が行われた。</p> <p>④ 意見交流</p> <p>○学力向上に因んで宿題の意義について意見があった。子どもたちは学ぶために宿題をするのではなく、宿題を早く終わらすことが目的になっている。もう一度宿題の仕方等について子どもたちに考えさせてほしい。</p> <p>○携帯電話やSNS等子どもたちの取り巻く環境について話が行われた。依存が問題になっているが、子どもたちが社会に出るときは、それだけ使いこなせなければならない状況にあることも考えられ、この問題の難しさを共通理解した。</p>
協議資料		<p>○令和7年度 「運営に関する計画」中間評価</p> <p>○令和7年度 「全国学力・学習状況調査」の結果</p>
備考	傍聴者[ 0 ]名	